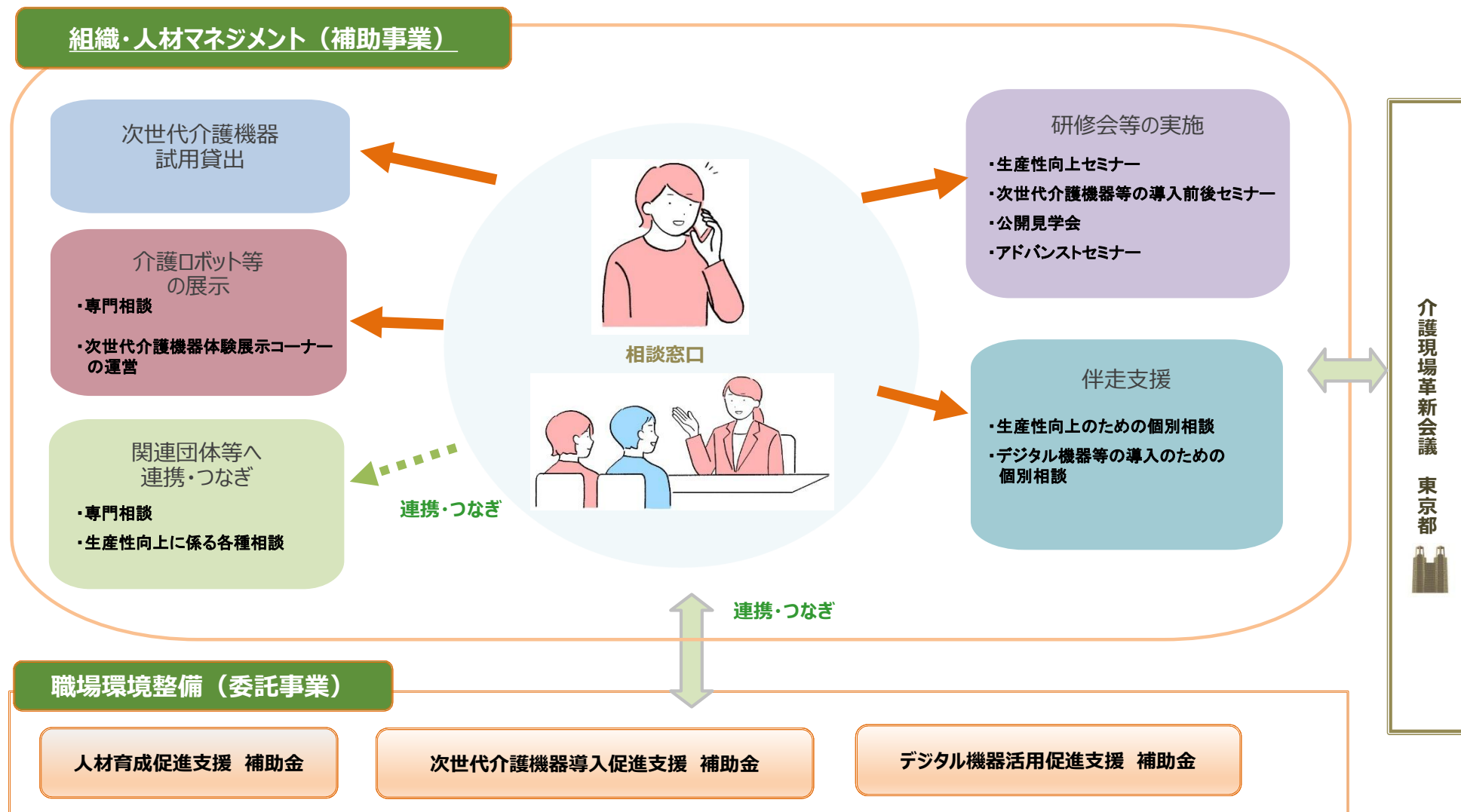


介護職場サポートセンターTOKYO

- 介護サービスを効率的かつ継続的に提供するため設備整備や人材育成等、**生産性向上**に向けて取り組む介護施設・事業所に対して支援を行う。
- 令和6年度より機器の導入に向けた個別伴走、試用機器貸出、人材確保や介護機器の開発等に関する窓口の設置による関係機関につなぐ事業を開始。

※国は「介護生産性向上推進総合事業」により、各都道府県におけるワンストップ窓口「介護職場サポートセンターTOKYO」の設置を誘導



令和6年度 介護現場改革促進等事業

【事業実績】

	事業名	事業内容	方式・規模
セミナー等	生産性向上セミナー/ 生産性向上に関するセミナー	介護事業者が生産性向上に向けた取組が行なえるよう、生産性向上に関するセミナーを実施する。	動画配信セミナー：年1回
	生産性向上セミナー / 働きやすい職場づくり環境セミナー	介護事業者が働きやすい職場環境整備のポイントについて知り、他事業所の事例によって、具体的な取組のイメージを持てるようにするとともに、生産性向上と働きやすい職場環境整備の関係性についての理解を促す。	
	生産性向上に向けた人材育成セミナー（経営層向け/リーダー層向けセミナー）	介護現場が生産性向上を推し進めるための取組の一環として、人材育成の必要性・仕組みづくりやリーダー層のマネジメント力向上等についてのノウハウを提供する。	
	導入前セミナー （次世代介護機器・介護業務支援システム）	補助申請前の段階で、機器の導入に必要なマネジメントについて理解を促進することにより、次世代介護機器や介護業務支援システム等の効果的な導入や活用・定着に寄与する。	オンライン、集合研修
	導入後セミナー （次世代介護機器・介護業務支援システム）	次世代介護機器及びデジタル機器を導入した（内示が決定した）事業所を対象に、機器の活用・定着等を支援する。	動画配信型セミナー 年1回
	アドバンストセミナー（次世代介護機器）	活用事例等の情報提供など、他事業所のモデルとなるアドバンスト施設・事業所（次世代介護機器を活用し、生産性向上に取り組む施設・事業所）を育成する。	オンライン、集合研修 実施規模：24事業所、4日間
普及推進活動	公開見学会（次世代介護機器）	先進的に機器を導入・活用している施設において、実際の機器の活用場面の見学や機器を使用している職員の話をお聴きいただける機会などを提供することで、次世代介護機器の導入・活用に向けた支援を行う。	実施規模：6回
	体験展示コーナー運営	財団内に次世代介護機器及びデジタル機器の常設展示を行う。そのほか、市区町村等の依頼等により、出張展示も行っている。	【展示】常設展示の他 出張展示会 3回 【対象】都内介護事業所＋都内の介護系学生及び教員
	専門相談 （次世代介護機器・デジタル機器・人材育成・生産性向上全般）	体験展示コーナーを活用し、専門アドバイザーによる次世代介護機器、デジタル機器、人材育成など、介護の生産性の向上に関する情報提供やアドバイスを実施する。	
	試用機器の貸出	介護事業所に実際の機器に触れ、活用を体験してもらうことで次世代介護機器等の普及推進を図る。	実施規模：40事業所
	生産性向上に向けた個別相談	経営コンサルタントが個別支援を必要とする事業所に対し、業務改善の支援を行い、事業所が介護サービスを効率的かつ継続的に行うサポートを行う。	実施規模：18事業所
	機器導入に向けた個別相談	デジタル機器及び次世代介護機器の導入を検討している事業所に対して、事業所の課題分析から効果的な活用のための組織体制づくりまでを一貫して伴走型で支援することで、デジタル機器等の効果的な導入及び活用を推進することを目的とする。	実施規模：18事業所

【課題】

- ・ワンストップ窓口については、引き続き連携機関との交流・情報交換の精度向上を図るとともに、相談者から支援メニューにつなげられる困りごとを聞き出せる相談支援力の向上も求められていると考えている。
- ・各種の支援メニューは連動して実施できているが、今後は居宅系を中心とした中小事業所に対しての周知向上、機器の導入及び定着による生産性向上の普及推進が重要。
- ➡引き続き伴走支援や専門相談等の個別の支援策とともに、都と連携して事業所への周知及びアドバンスト事業所等の更なる協力により普及推進していく。

令和6年度 介護職場サポートセンターT O K Y O 事業別 実績 (2025年3月31日時点)

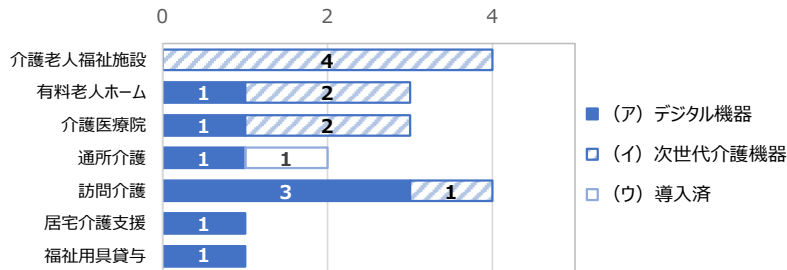
機器導入に向けた個別相談

概要

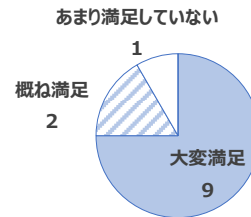
都内の介護事業所を対象に、機器導入のための個別相談を実施した。

- 参加事業所 18 事業所
- 支援メニュー (ア) デジタル機器 (イ) 次世代介護機器 (ウ) 導入済
- 実施期間 令和6年6月20日 (参加決定) ~ 令和7年3月31日

事業所属性



事業全体の満足度



<大変満足>

- 機器導入の良いきっかけになり、一気にICT化を進めることができた。
- 機器導入に関する知識が乏しい状態だったが、丁寧に寄り添ってもらいながら事業を進められた。

<概ね満足>

- 貴重な意見を聞けて勉強になった。

<あまり満足していない>

- 事業は必要と思うが、具体的な内容がなく形だけとなっていると感じたため。

総括

- 申込にあたり、機器等の導入で業務改善・効率化に取り組みたい事業所が多く、それに付随してか補助金申請支援の希望も次点で多かった。
- 課題の抽出・分析や導入の進め方、効果測定等の支援により、伴走の効果を感じていただけており、個別相談への参加が、取組やICT化を始める一歩となっている。その反面、機器の導入定着については補助金申請時期の遅れ等も影響して、効果は不明である。
- 9割の事業所が満足と回答しているが、機器導入のプロセスにおいては「手順2（現場の課題を見える化しよう）」が重要であると同時に難しい段階であると多くの事業所が感じている。課題の見える化の段階をもう少し手厚くするなど、現場に沿った支援がより一層求められる。

【手順1 改善活動の準備をしよう、手順2 現場の課題を見える化しよう、手順3 実行計画を立てよう、手順4 改善活動に取り組もう、手順5 改善活動を振り返ろう、手順6 実行計画を練り直そう】

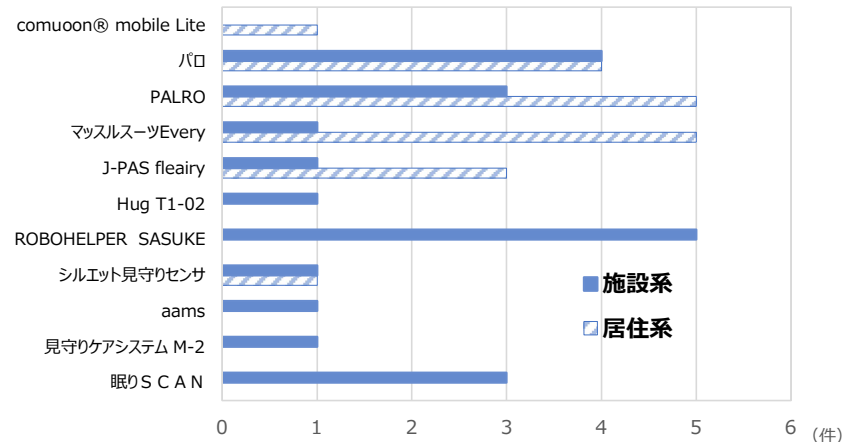
試用機器貸出

概要

都内介護事業所を対象に、体験展示コーナーに設置する機器の一部を貸出。

- 集計期間 令和6年5月27日～令和7年3月31日 ※5/27事業開始
- 貸出機器数 5分野20機器
- 貸出期間 2週間 または 1か月

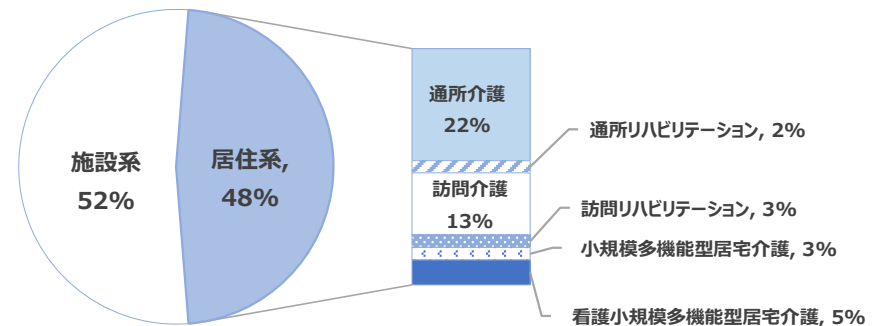
貸出実績（機器別）



事業実績

申込事業所数 40 事業所
貸出件数 65 件 （2週間を1単位とする。）

サービス別



総括

- 電話での相談や、個別相談事業とも連携して貸出につながった事例も複数あった。
- 移乗支援、見守り・コミュニケーションのみとなっているため、他の分野にも広がるとよい。